

第12回 山田順子さん（北海道大学）

日本心理学会若手の会コラムリレーでは、若手のみなさまに、ご活躍されている領域や普段の生活についてご紹介いただきます。

第12回目は、山田順子さん（北海道大学）にご執筆いただきました。

近年、日本では未婚率の増加や結婚年齢の上昇が問題となっています。しかし、悲しいことに結婚願望を持つ独身者は60%を超しているのです。つまり「相手が欲しいのに見つけれない」という状態といえます。こうした需要に応え、最近では婚活パーティや街コンといった「出会いの場」の供給が増えました。そういったパーティは、確かに人々に新たな出会いの機会を増やしました。しかしこうした場面で、これまで出会いの機会に恵まれない人々は果たしてうまくふるまえるのでしょうか？またパートナー獲得に「良い」戦略は皆同じなのでしょうか？

対人関係は、様々な要因が複雑に絡み合った問題です。だからこそ、こうした問いに答えるためには、社会心理学の垣根を超えて、進化心理学、行動生態学、経済学など、様々な分野に手を広げ、異なる視点に立つことが重要だと感じています。こうした様々な分野の知見を踏まえ、より精緻な理論モデルの構築と、その現実への適用方法の提示をしていけるようになりたいと考えています。

山田順子（Junko YAMADA）さん

【ご所属】北海道大学大学院文学研究科

【ご連絡先】 jyamada@lynx.let.hokudai.ac.jp